

(仮称) 南区 Well-beingプロジェクト 事業内容

【南・子育て支援課】

○ 前向き子育てプログラム（ポジティブディシプリン）事業

0歳から18歳未満を育てている方を対象に、子どもの人権を尊重することを基本とし、親子関係を見直すための罰によらない前向き子育てを学ぶプログラム事業

○ セカンドステップ事業

未就園年少ごろから小学校低学年ごろまでの年齢層を対象に、心や身体を傷つける以前に、自分の感情を自覚し、相手の気持ちを尊重して、言葉で建設的に問題を解決するソーシャルスキルの手法を学ぶ事業。また、このプログラムを子育て支援関係者が習得できる場の設定を支援します。

○ レジリエンスを高める事業

未就園年少ごろから小学校低学年ごろまでの年齢層を対象に、子ども自身にも感情のコントロールをする力や困難な状況に対しても回復していける力(レジリエンス)を身につけていくことを目的としたプログラムを実施。また、子育て支援者としての必要なスキルをも学びます。

○ 生き抜く力を育てるワークショップ事業

南区の子ども(小学1年生から中学3年生)を対象に、次代を担う子どもたちが自分の将来を前向きに考える環境づくりを支援し、自らの力で未来を切り開いていくために欠かすことのできない自尊感情の醸成を図るワークショップを開催する事業

○ 大人ママほっとルーム事業

おおむね40歳以上の保護者（高齢で出産をした、また妊娠中の方）と未就園児を対象に、同年代での交流、つながり支援、母自身が息抜きできる時間やホッとできる場所を提供する事業

○ 南区子どもサポートプラットホーム事業

学校が抱える課題やその地域の課題を共有し、児童・生徒の学校での気づきを早い段階で「南区保健福祉総合相談体制」などの支援に繋げる事業（今年度は仕組みを構築し運用開始予定）

【南保健センター】

○地区活動

保健師等の専門職が家庭訪問や地域に出向いて健康相談や健康教育を実施したり、地区組織（自治会・民生委員会・校区福祉委員会等）や学校、企業等と連携しながら、地域のつながりを大切に、健康づくりの視点からより住みやすいまちづくりにむけてともに考えていきます。

○学校保健との連携

いのちの授業を助産師とともに行い、たばこやアルコールなどの授業や資料提供を行っています。また、保護者向けにがん検診や特定健康診査の案内を行い、家族の健康づくりについての啓発もしています。

○特定保健指導

特定健康診査の結果によりメタボリックシンドロームの該当者及び予備軍と判定された方（糖尿病、高血圧症または脂質異常症の治療にかかり薬剤を内服している方は除く）が対象。医療機関、保健センターで保健師、管理栄養士等による生活習慣改善に向けたアドバイスを3か月間受けることができます。無料。

*特定健康診査とは、40歳～74歳までの方を対象に生活習慣病の予防のためにメタボリックシンドロームに着目した健康診査。堺市では堺市国民健康保険に加入されている方に医療機関で実施しており無料。40歳～74歳までの方で堺市国民健康保険以外に加入の方はご加入の医療保険者にご確認ください。なお75歳以上の方は大阪府後期高齢者医療広域連合が実施する健康診査になります。

○ひらめき脳トレプラス教室

脳活性化プログラムに加えて、口腔ケアや食生活の改善、運動機能向上のためのプログラムを組み合わせた介護予防教室。65歳以上で介護保険の要支援・要介護認定をうけていない方で医師から運動を禁止されていない方が対象。12回コース。

○健康づくり推進委員会

市民協働による健康づくり推進事業で、区内自主活動グループの代表で構成されています。平成19年度に発足し、平成26年度に「健（検）診と減塩は健康長寿の秘訣なり」というスローガンを掲げ、健康づくりの情報交換や取り組みについて考え、健康広場等で市民への啓発も一緒に行っています。